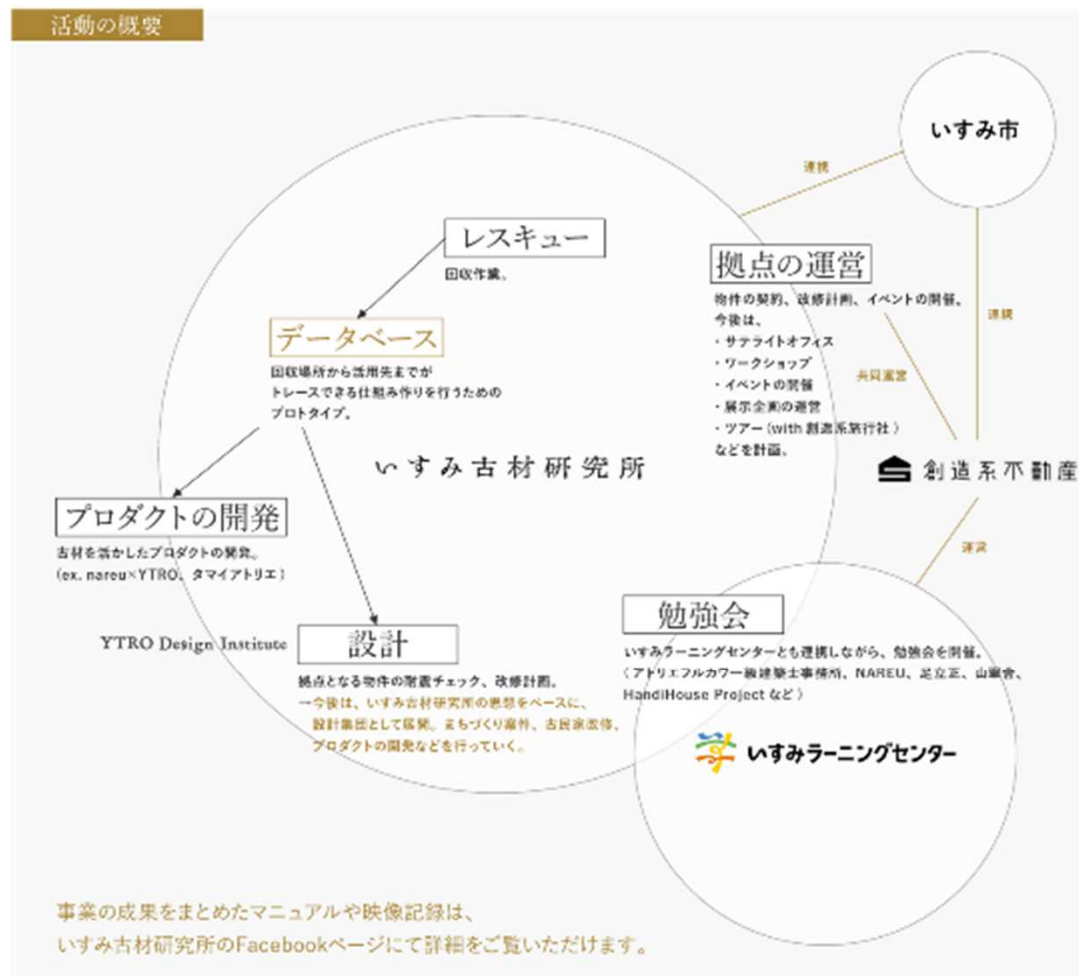


いすみ古材研究所(いすみラーニングセンター)

課題と目的	利活用の進まない地域の遊休不動産とゴミの問題を新しい視点を通して解決するために、空家や解体現場からでる古材・廃材・古道具を地域の資源として活用する。
取組内容	材を回収・ストックし、様々な形で活用の検討を進める。専門家と連携し勉強会を開催。デザインや建築設計のメンバーと活用のアイデアを検討、展開。拠点となる物件の契約を進め、今後の事業展開の準備を行う（構造チェック、改修計画、イベントの開催）。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 回収した材のデータベース・商店街全体を会場にした地域活性化を促進するイベントの開催 古材・古道具の活用に関する研究と実践のプロセスについてのマニュアル



コンセプト

いすみ古材研究所を設立
(デザイン・建築設計のプロが集まり、様々な課題解決へアプローチ)

モノの価値を問い直す

「古材」という概念をそれぞれが解釈し発信する場づくりを進め、多角的に活動の輪を広げ、持続的な取り組みをしていく。

成果

データベース作成

拠点の改修とイベントの開催

ユニットの設計(プロダクト開発)

マニュアルの作成

* 事業展開までの状況と実装の過程を記録物として、マニュアルにまとめました。

1. 定数の把握
2. コンセプトメイキング
3. 拠点づくり
4. 取組内容
5. レスキュー
6. 広場の区分
7. 拠点区分
8. データベースの作成
9. 経営者の株式会社と事例
10. 文化の醸成